



## 2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月9日

上場会社名 株式会社IMAGICA GROUP 上場取引所 東  
 コード番号 6879 URL <https://www.imagicagroup.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 長瀬 俊二郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員 (氏名) 森田 正和 TEL 03-5777-6295  
 定時株主総会開催予定日 2024年6月25日 配当支払開始予定日 2024年6月11日  
 有価証券報告書提出予定日 2024年6月25日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	99,684	5.9	3,924	1.4	3,727	2.5	2,373	△38.6
2023年3月期	94,147	17.4	3,868	13.2	3,638	△7.5	3,864	41.6

(注) 包括利益 2024年3月期 3,466百万円(△51.8%) 2023年3月期 7,186百万円(91.5%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	53.57	—	6.4	4.6	3.9
2023年3月期	86.79	—	11.5	4.7	4.1

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 △14百万円 2023年3月期 △8百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	78,694	39,906	48.1	855.85
2023年3月期	81,888	40,303	44.1	809.83

(参考) 自己資本 2024年3月期 37,828百万円 2023年3月期 36,106百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	5,730	△4,461	△4,117	5,241
2023年3月期	6,109	△2,380	△2,585	7,812

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00	668	17.3	2.0
2024年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00	663	28.0	1.8
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00		33.2	

※2025年3月期配当予想の考え方については、添付資料5ページ「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し 配当に関する方針」をご参照ください。

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	98,000	△1.7	3,700	△5.7	3,200	△14.2	2,000	△15.7	45.25

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数

2024年3月期	44,741,467株	2023年3月期	44,741,467株
2024年3月期	541,346株	2023年3月期	156,042株
2024年3月期	44,298,707株	2023年3月期	44,527,222株

(参考) 個別業績の概要

2024年3月期の個別業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	3,366	△6.3	595	△19.9	729	△1.0	1,111	24.4
2023年3月期	3,591	13.7	743	15.2	736	15.2	893	△14.4

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	25.09	—
2023年3月期	20.06	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	31,695	20,925	66.0	473.42
2023年3月期	30,323	20,449	67.4	458.67

(参考) 自己資本 2024年3月期 20,925百万円 2023年3月期 20,449百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいておりましたが、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	4
(4) 今後の見通し .....	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(セグメント情報等) .....	14
(1株当たり情報) .....	17
(重要な後発事象) .....	17
4. その他 .....	18

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

#### ①当連結会計年度の概況

当連結会計年度における日本経済の情勢は、景気の緩やかな回復が進んだ一方、急激な円安の進行や物価上昇など、先行きは依然として不確定な要素を内包しております。

当社グループは、中期経営計画「G-EST2025」(ジーエスト2025)の3年目となる2024年3月期を「基盤確立から成長路線へ舵をとる年」と位置づけ、5つの基本戦略を遂行してまいりました。

これらの結果、当連結会計年度における当社グループの業績は、上場来最高となる売上高996億84百万円(前年同期比5.9%増)、ならびに営業利益39億24百万円(前年同期比1.4%増)を計上し、経常利益37億27百万円(前年同期比2.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益23億73百万円(前年同期比38.6%減)となりました。なお、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前年に移転補償金を含む特別利益を計上したため減益となりました。

#### ②セグメント別の業績

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

なお、当連結会計年度より、報告セグメントの名称を従来の「映像制作サービス事業」から「映像制作技術サービス事業」へ変更しております。当該変更はセグメント名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

##### 1)映像コンテンツ事業

当連結会計年度における映像コンテンツ事業の業績は、売上高は281億86百万円(前年同期比19.8%増)、営業利益は12億76百万円(前年同期比138.4%増)となりました。

映画・ドラマ作品は、劇場映画「ゴジラー1.0」、Netflix映画「ゾン100～ゾンビになるまでにしたい100のこと～」、Netflixシリーズ「幽☆遊☆白書」、などの大型作品を計上し増収となりました。アニメーション作品は、CGアニメーションやテレビシリーズの受注が好調なことにより大幅な増収となりました。出版事業は、2023年10月から2024年3月までテレビアニメが放映されたライトノベル「薬屋のひとりごと」の書籍販売などが好調なことにより大幅な増収となりました。一方、CM制作についてはTV向けの受注は低調でしたが、Web向けは伸長しました。

これらの結果、映像コンテンツ事業全体は大幅な増収増益となりました。

## 2)映像制作技術サービス事業

当連結会計年度における映像制作技術サービス事業の業績は、売上高は539億67百万円(前年同期比0.3%減)、営業利益は14億30百万円(前年同期比43.5%減)となりました。

国内のE2Eサービス<sup>\*1</sup>は、デジタルシネマ向けのサービスなどが堅調に推移したことにより増収となりました。

海外のE2Eサービス<sup>\*1</sup>は、デジタルシネマ向けサービスが伸長したものの、米国ハリウッドにおける脚本家・俳優組合のストライキが予想より長期化し、新作の遅れなどによって、ローカライズの売上が減少し減収となりました。これら減収に伴う利益の減少、及び設備投資拡大に伴う減価償却費などの増加により、減益となりました。

ゲーム関連事業<sup>\*2</sup>は、3DCG制作の受注が増加したことなどにより増収となりました。

TV向けポストプロダクションサービスは、動画コンテンツの多様化によるTV業界の環境変化により、受注が低調に推移し減収となりました。

これらの結果、映像制作技術サービス事業全体は減収減益となりました。

※1：E2Eサービス：End to End。映画・ドラマ・アニメーション等の映像コンテンツを制作するポストプロダクションから、それらを劇場、テレビ、インターネットを介した動画配信などあらゆるメディアで流通させるために必要なローカライズ(吹替、字幕制作)、ディストリビューション(流通)のためのメディアサービスまでをワンストップで提供するサービスの総称。なお、海外のE2Eサービスの業績につきましては、決算日が12月31日であるため、当連結会計年度には2023年1月1日～2023年12月31日の実績を反映しております。

※2：ゲーム関連事業：ゲームソフトの開発、ビジュアル制作(CG)、翻訳/音声収録や品質管理、クリエイティブ人材派遣・紹介等

## 3)映像システム事業

当連結会計年度における映像システム事業の業績は、売上高は197億56百万円(前年同期比4.4%増)、営業利益は24億4百万円(前年同期比15.2%増)となりました。

ハイスピードカメラは、前連結会計年度の部品不足が解消され、特に海外向けの受注が好調に推移したことにより、年間の製品出荷台数が過去最高を更新し大幅な増収となりました。放送映像システムは、案件の受注が低調により減収となるもコスト構造の見直しにより増益となりました。一方、映像・画像処理LSIは市場環境の回復遅れなどにより減収となりました。

これらの結果、映像システム事業全体は増収増益となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## ①資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて36億82百万円(8.2%)減少し、412億88百万円となりました。

これは主に、現金及び預金、並びに売掛金が減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて4億88百万円(1.3%)増加し、374億5百万円となりました。

これは主に、繰延税金資産が減少した一方で、関係会社株式、並びに有形固定資産のその他、のれんが増加したことによるものであります。

これらの結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて31億93百万円(3.9%)減少し、786億94百万円となりました。

## ②負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて42億54百万円(12.8%)減少し、289億50百万円となりました。

これは主に、契約負債及び短期借入金が増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて14億58百万円(17.4%)増加し、98億37百万円となりました。

これは主に、リース債務が増加した一方で、長期借入金が増加したことによるものであります。

これらの結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて27億96百万円(6.7%)減少し、387億88百万円となりました。

## ③純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べて3億97百万円(1.0%)減少し、399億6百万円となりました。なお、自己資本比率は48.1%となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下、資金という。)は、前連結会計年度末に比べて25億71百万円(32.9%)減少し、52億41百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## 1) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、57億30百万円(前年同期は61億9百万円の収入)となりました。

これは主に、契約負債の減少により資金が減少した一方、売上債権及び契約資産、並びに棚卸資産の減少により資金が増加したことによるものであります。

## 2) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、44億61百万円(前年同期は23億80百万円の使用)となりました。

これは主に、有形固定資産及び関係会社株式の取得により資金が減少したことによるものであります。

## 3) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、41億17百万円(前年同期は25億85百万円の使用)となりました。

これは主に、長期借入れによる収入により資金が増加した一方、長期借入金の返済及び連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得により資金が減少したことによるものであります。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
自己資本比率	40.3	45.4	42.4	44.1	48.1
時価ベースの自己資本比率	25.1	39.7	43.3	32.4	38.4
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	162.4	△2,282.9	117.2	215.7	231.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ	21.4	△1.7	35.5	21.0	14.0

※自己資本比率：自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー/利払い

(注) 1. 各指標はいずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

2. 株式時価総額は期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。

3. 営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を払っているすべての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

#### (4) 今後の見通し

当社グループは、成長路線の拡大と事業変革を継続して推進するため、2025年3月期は、事業セグメント毎に、主に以下の取り組みを重点的に行ってまいります。

1)映像コンテンツ事業：IPの創出と活用による収益拡大、アニメ制作やCM制作におけるデジタル化推進による収益性改善

2)映像制作技術サービス事業：APAC拠点拡充によるグローバルE2E事業の拡大、ゲーム関連事業での3DCG制作の売上拡大とグローバル市場への展開

3)映像システム事業：ハイスピードカメラのラインナップ充実と販路拡大、3Dセンシングを始めとする次なる成長事業への継続投資

これらに加え、前連結会計年度の映画・ドラマの大型作品計上の反動、連結子会社の売却、ならびに米国ハリウッドにおける脚本家・俳優組合のストライキの影響を織り込み、2025年3月期の連結業績予想については、売上高980億円、営業利益37億円、経常利益32億円、親会社株主に帰属する当期純利益20億円を見込んでおります。営業利益には、費用としてのれん等償却費※約21億円を含んでいます。

なお、今後の経営方針につきまして、2024年4月に代表取締役社長に就任した長瀬俊二郎より、2024年5月16日に開催予定の決算説明会にて説明させていただきます。

(※のれん等償却費=のれん償却+M&Aに伴う無形固定資産償却)

##### <配当に関する方針>

当社グループは、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要事項のひとつと位置づけております。配当につきましては、連結業績に応じた利益配分を基本とした上で、連結配当性向の目標を30%とし、安定した配当の維持と配当水準の向上を目指しております。

なお、特別な損益等の特殊要因が当期純利益に大きく影響を与える場合は、配当の決定にあたり、基本的に特殊要因を考慮した配当性向を踏まえ、株主様への安定的な配当と今後の事業展開や内部留保の状況などを総合的に勘案し決定いたしております。

上記方針に基づき、2025年3月期の期末配当金(予想)については1株当たり15円とさせていただきます。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,813,769	5,242,625
受取手形	420,745	338,971
売掛金	21,445,673	20,171,802
契約資産	71,061	61,614
棚卸資産	12,460,112	11,536,441
その他	2,868,953	3,997,518
貸倒引当金	△109,328	△60,000
流動資産合計	44,970,987	41,288,972
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,213,112	13,081,194
減価償却累計額	△7,584,337	△8,155,338
減損損失累計額	△619,501	△598,722
建物及び構築物(純額)	4,009,273	4,327,134
機械装置及び運搬具	6,210,738	5,904,211
減価償却累計額	△5,525,748	△5,212,534
減損損失累計額	△139,607	△137,053
機械装置及び運搬具(純額)	545,383	554,623
土地	921,363	921,363
リース資産	5,991,152	5,411,365
減価償却累計額	△871,877	△734,703
減損損失累計額	△121,127	△89,060
リース資産(純額)	4,998,147	4,587,602
建設仮勘定	1,711,600	1,516,451
その他	7,801,738	9,016,129
減価償却累計額	△5,377,680	△6,303,911
減損損失累計額	△135,685	△125,339
その他(純額)	2,288,372	2,586,878
有形固定資産合計	14,474,140	14,494,052
無形固定資産		
のれん	11,780,285	12,045,813
その他	2,460,007	2,462,141
無形固定資産合計	14,240,292	14,507,955
投資その他の資産		
投資有価証券	2,876,524	3,081,638
関係会社株式	514,042	1,480,535
敷金及び保証金	2,048,952	2,000,866
繰延税金資産	2,420,133	1,672,072
その他	490,206	326,433
貸倒引当金	△147,088	△157,899
投資その他の資産合計	8,202,771	8,403,647
固定資産合計	36,917,204	37,405,654
資産合計	81,888,191	78,694,627

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,133,738	6,799,221
短期借入金	6,432,680	5,143,423
リース債務	881,977	983,578
未払金	1,769,403	2,530,291
未払法人税等	1,172,785	1,432,145
契約負債	7,591,449	4,886,312
賞与引当金	1,281,691	1,393,870
受注損失引当金	1,100	11,380
訴訟損失引当金	630,660	—
資産除去債務	23,181	—
その他	6,286,605	5,770,083
流動負債合計	33,205,274	28,950,308
固定負債		
長期借入金	1,366,665	3,120,478
リース債務	4,498,102	4,015,709
長期未払金	252,767	519,874
繰延税金負債	196,598	214,227
退職給付に係る負債	1,241,071	1,219,274
資産除去債務	653,518	667,624
その他	170,257	80,746
固定負債合計	8,378,982	9,837,935
負債合計	41,584,257	38,788,243
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,306,002	3,306,002
資本剰余金	13,020,018	12,149,768
利益剰余金	16,982,736	18,686,595
自己株式	△158,530	△411,349
株主資本合計	33,150,226	33,731,016
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	713,553	1,076,431
繰延ヘッジ損益	20,740	30,654
土地再評価差額金	△17,933	△17,933
為替換算調整勘定	2,237,081	3,024,687
退職給付に係る調整累計額	2,828	△16,227
その他の包括利益累計額合計	2,956,270	4,097,613
非支配株主持分	4,197,436	2,077,752
純資産合計	40,303,934	39,906,383
負債純資産合計	81,888,191	78,694,627

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	94,147,707	99,684,745
売上原価	67,424,283	71,097,516
売上総利益	26,723,423	28,587,228
販売費及び一般管理費	22,854,523	24,663,192
営業利益	3,868,899	3,924,035
営業外収益		
受取利息	3,709	10,253
受取配当金	26,117	34,747
受取賃貸料	65,177	51,001
為替差益	83,005	226,621
その他	111,149	119,996
営業外収益合計	289,160	442,620
営業外費用		
支払利息	290,255	408,691
持分法による投資損失	8,290	14,610
投資事業組合管理費	—	105,497
その他	220,957	109,887
営業外費用合計	519,503	638,685
経常利益	3,638,556	3,727,971
特別利益		
固定資産売却益	7,464	2,668
投資有価証券売却益	1,576,172	290,067
関係会社株式売却益	132,878	189,252
段階取得に係る差益	—	159,561
訴訟損失引当金戻入額	—	234,162
移転補償金	3,608,494	—
その他	2,156	12,372
特別利益合計	5,327,166	888,084
特別損失		
固定資産除却損	21,425	11,191
減損損失	326,587	23,903
投資有価証券評価損	188,001	95,127
関係会社株式評価損	—	84,677
割増退職金	785,559	—
その他	124,279	1,840
特別損失合計	1,445,854	216,740
税金等調整前当期純利益	7,519,868	4,399,315
法人税、住民税及び事業税	1,984,715	1,296,386
法人税等調整額	345,712	570,282
法人税等合計	2,330,427	1,866,668
当期純利益	5,189,440	2,532,646
非支配株主に帰属する当期純利益	1,324,955	159,503
親会社株主に帰属する当期純利益	3,864,485	2,373,143

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	5,189,440	2,532,646
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	318,208	158,091
繰延ヘッジ損益	20,740	9,914
為替換算調整勘定	1,652,856	784,515
退職給付に係る調整額	5,312	△19,056
その他の包括利益合計	1,997,117	933,464
包括利益	7,186,558	3,466,111
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	5,635,297	3,514,486
非支配株主に係る包括利益	1,551,261	△48,374

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,306,002	13,223,561	13,785,809	△351,569	29,963,804
会計方針の変更による累積的影響額			△1,625		△1,625
会計方針の変更を反映した当期首残高	3,306,002	13,223,561	13,784,184	△351,569	29,962,178
当期変動額					
剰余金の配当			△665,932		△665,932
親会社株主に帰属する当期純利益			3,864,485		3,864,485
自己株式の取得				△151	△151
自己株式の処分		△53,280		193,190	139,910
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△150,263			△150,263
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△203,543	3,198,552	193,039	3,188,048
当期末残高	3,306,002	13,020,018	16,982,736	△158,530	33,150,226

	その他の包括利益累計額						非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	610,074	—	△17,933	595,800	△2,483	1,185,458	2,876,174	34,025,437
会計方針の変更による累積的影響額								△1,625
会計方針の変更を反映した当期首残高	610,074	—	△17,933	595,800	△2,483	1,185,458	2,876,174	34,023,811
当期変動額								
剰余金の配当								△665,932
親会社株主に帰属する当期純利益								3,864,485
自己株式の取得								△151
自己株式の処分								139,910
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動								△150,263
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	103,479	20,740	—	1,641,280	5,312	1,770,812	1,321,261	3,092,074
当期変動額合計	103,479	20,740	—	1,641,280	5,312	1,770,812	1,321,261	6,280,122
当期末残高	713,553	20,740	△17,933	2,237,081	2,828	2,956,270	4,197,436	40,303,934

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,306,002	13,020,018	16,982,736	△158,530	33,150,226
会計方針の変更による累積的影響額					—
会計方針の変更を反映した当期首残高	3,306,002	13,020,018	16,982,736	△158,530	33,150,226
当期変動額					
剰余金の配当			△668,781		△668,781
親会社株主に帰属する当期純利益			2,373,143		2,373,143
自己株式の取得				△339,978	△339,978
自己株式の処分		△17,764		87,159	69,395
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△852,485			△852,485
連結範囲の変動			△502		△502
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△870,249	1,703,858	△252,818	580,790
当期末残高	3,306,002	12,149,768	18,686,595	△411,349	33,731,016

	その他の包括利益累計額						非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	713,553	20,740	△17,933	2,237,081	2,828	2,956,270	4,197,436	40,303,934
会計方針の変更による累積的影響額								—
会計方針の変更を反映した当期首残高	713,553	20,740	△17,933	2,237,081	2,828	2,956,270	4,197,436	40,303,934
当期変動額								
剰余金の配当								△668,781
親会社株主に帰属する当期純利益								2,373,143
自己株式の取得								△339,978
自己株式の処分								69,395
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動								△852,485
連結範囲の変動								△502
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	362,877	9,914	—	787,606	△19,056	1,141,342	△2,119,684	△978,341
当期変動額合計	362,877	9,914	—	787,606	△19,056	1,141,342	△2,119,684	△397,550
当期末残高	1,076,431	30,654	△17,933	3,024,687	△16,227	4,097,613	2,077,752	39,906,383

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	7,519,868	4,399,315
減価償却費	2,596,176	2,941,143
減損損失	326,587	23,903
のれん償却額	1,558,279	1,655,201
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△61,306	21,602
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	63,157	△45,305
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△312,568	183,907
訴訟損失引当金の増減額 (△は減少)	—	△630,660
受取利息及び受取配当金	△35,041	△45,001
支払利息	290,255	408,691
持分法による投資損益 (△は益)	8,290	14,610
固定資産処分損益 (△は益)	13,960	8,523
投資有価証券評価損益 (△は益)	188,001	95,127
関係会社株式評価損	—	84,677
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,576,172	△290,067
関係会社株式売却損益 (△は益)	△132,878	△189,252
段階取得に係る差損益 (△は益)	—	△159,561
移転補償金	△3,608,494	—
割増退職金	785,559	—
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△2,179,438	1,928,766
棚卸資産の増減額 (△は増加)	1,172,665	1,007,708
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,007,531	△523,675
契約負債の増減額 (△は減少)	△876,900	△2,668,142
未払又は未収消費税等の増減額	△113,379	919,529
未払金の増減額 (△は減少)	10,251	920,704
その他	2,203,626	△2,314,628
小計	5,832,968	7,747,117
利息及び配当金の受取額	34,182	43,995
利息の支払額	△290,320	△408,310
移転補償金の受取額	3,434,095	—
割増退職金の支払額	△712,525	△73,034
法人税等の支払額	△2,189,269	△1,579,527
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,109,130	5,730,240
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,853,620	△2,291,501
無形固定資産の取得による支出	△655,015	△781,978
投資有価証券の売却による収入	1,642,912	321,785
関係会社株式の取得による支出	△215,681	△1,289,081
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△203,303
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△267,310
敷金及び保証金の差入による支出	△161,444	△59,343
その他	△137,593	108,953
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,380,444	△4,461,779

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	280,149	△272,203
長期借入れによる収入	—	3,448,960
長期借入金の返済による支出	△1,334,433	△3,017,609
配当金の支払額	△665,932	△668,781
非支配株主への配当金の支払額	△140,670	△102,689
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△442,473	△1,522,345
非支配株主への分配金の支払額	—	△1,379,514
その他	△282,415	△603,522
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,585,777	△4,117,706
現金及び現金同等物に係る換算差額	250,452	176,940
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,393,361	△2,672,305
現金及び現金同等物の期首残高	6,419,206	7,812,568
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	101,000
現金及び現金同等物の期末残高	7,812,568	5,241,262

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社及び連結子会社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、その事業領域を「映像」関連分野として、幅広く事業を展開しており、「映像コンテンツ事業」「映像制作技術サービス事業」「映像システム事業」の3分野を報告セグメントとしております。

「映像コンテンツ事業」は、劇場映画・ドラマ番組・アニメーション作品・Web関連映像の企画制作、テレビCMやインターネット等の広告制作、出版事業、ミュージックビデオを主とした音楽映像制作、ライブエンタテインメントなど、映像を軸にした空間の総合プロデュース等を行っております。

「映像制作技術サービス事業」は、撮影、中継、番組・CM・PR等の映像・音声編集、デジタル合成、VFX・CG制作、デジタルシネマ、ローカライズ、ディストリビューションなど、撮影・中継から編集、流通までワンストップでグローバルに対応する映像技術サービスと、ゲームソフトの開発、ビジュアル制作(CG)、翻訳/音声収録や品質管理、人材サービス等を提供しております。

「映像システム事業」は、映像・画像に関わる最先端のハードウェア及びソフトウェアの開発・製造・輸入・販売・保守サービス、映像・画像処理LSIの開発・販売、スポーツライブ中継・配信等の事業を展開しております。

(2) 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの変更)

当連結会計年度より、報告セグメントの名称を従来の「映像制作サービス」から「映像制作技術サービス」へ変更しております。当該名称変更がセグメント情報に与える影響はありません。

なお、前連結会計年度のセグメント情報についても変更後の名称で記載しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、連結財務諸表において採用している会計処理の方法と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの値であります。

セグメント間の内部売上高及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額 (注2)
	映像 コンテンツ	映像制作 技術サービス	映像 システム	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	23,397,103	52,563,615	18,173,043	94,133,762	13,944	94,147,707
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	140,321	1,564,527	757,182	2,462,031	△2,462,031	—
計	23,537,424	54,128,142	18,930,226	96,595,794	△2,448,086	94,147,707
セグメント利益	535,234	2,532,715	2,086,987	5,154,937	△1,286,037	3,868,899
セグメント資産	18,448,131	44,625,497	16,601,645	79,675,274	2,212,916	81,888,191
その他の項目						
減価償却費	60,253	2,009,073	424,485	2,493,812	102,363	2,596,176
減損損失	299,217	27,370	—	326,587	—	326,587
有形固定資産及 び無形固定資産 の増加額	124,996	2,702,160	799,000	3,626,156	90,224	3,716,381

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) 外部顧客への売上高は、配当金収入、不動産賃貸収入等であります。
  - (2) セグメント利益の調整額△1,286,037千円には、当社に係る損益872,667千円及びセグメント間取引消去△2,158,704千円が含まれております。
  - (3) セグメント資産の調整額2,212,916千円には、各報告セグメントに配分していない全社資産14,277,047千円、セグメント間取引消去△12,064,130千円が含まれております。全社資産は、主に当社の現預金及び投資有価証券等の固定資産であります。
  - (4) 減価償却費の調整額102,363千円には、全社資産に係る減価償却費119,466千円及びセグメント間取引消去△17,103千円が含まれております。
  - (5) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額90,224千円には、全社資産の増加額513,506千円及びセグメント間取引消去△423,282千円が含まれております。
2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額 (注2)
	映像 コンテンツ	映像制作 技術サービス	映像 システム	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	28,091,795	52,547,746	19,036,354	99,675,896	8,848	99,684,745
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	94,824	1,419,288	720,262	2,234,374	△2,234,374	—
計	28,186,619	53,967,034	19,756,616	101,910,270	△2,225,525	99,684,745
セグメント利益	1,276,056	1,430,304	2,404,840	5,111,201	△1,187,166	3,924,035
セグメント資産	17,219,222	42,327,572	16,994,774	76,541,569	2,153,058	78,694,627
その他の項目						
減価償却費	60,894	2,265,607	534,400	2,860,903	80,239	2,941,143
減損損失	18,327	5,576	—	23,903	—	23,903
有形固定資産及 び無形固定資産 の増加額	160,418	2,180,090	402,047	2,742,555	32,785	2,775,341

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) 外部顧客への売上高は、不動産賃貸収入等であります。
  - (2) セグメント利益の調整額△1,187,166千円には、当社に係る損益595,283千円及びセグメント間取引消去△1,782,450千円が含まれております。
  - (3) セグメント資産の調整額2,153,058千円には、各報告セグメントに配分していない全社資産14,553,765千円、セグメント間取引消去△12,400,707千円が含まれております。全社資産は、主に当社の現預金及び投資有価証券等の固定資産であります。
  - (4) 減価償却費の調整額80,239千円には、全社資産に係る減価償却費99,423千円及びセグメント間取引消去△19,183千円が含まれております。
  - (5) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額32,785千円には、全社資産の増加額51,236千円及びセグメント間取引消去△18,450千円が含まれております。
2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産	809.83円	855.85円
1株当たり当期純利益	86.79円	53.57円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	3,864,485	2,373,143
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	3,864,485	2,373,143
普通株式の期中平均株式数(株)	44,527,222	44,298,707

3. 1株当たり純資産の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (2023年3月31日)	当連結会計年度末 (2024年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	40,303,934	39,906,383
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	4,197,436	2,077,752
(うち非支配株主持分(千円))	(4,197,436)	(2,077,752)
普通株式に係る期末の純資産(千円)	36,106,497	37,828,630
1株当たり純資産の算定に用いられた期末の普通株式の 数(株)	44,585,425	44,200,121

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の異動

代表者の異動

代表者の異動につきましては、2024年2月6日付「代表取締役の異動に関するお知らせ」をご参照ください。